



杉並区教育調査（保護者アンケート）の結果について

小学部副学園長 吉田 健二

昨年11月に実施した教育調査（保護者アンケート）の集計結果をお知らせします。調査方法は昨年に引き続きインターネット回答となり、回答率は区共通項目 49.8%、学園独自項目 32.2%となりました。ご多用の中、教育調査アンケートにご協力いただきありがとうございました。

	質問内容	肯定率	
		学園	区
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている	63.5	65.0
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方方が身に付いている	67.5	69.8
3	子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイナリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる	49.0	42.3
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	52.2	53.2
5	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など）が進められている	60.0	35.2
6	子どもは、児童・生徒用タブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	61.9	62.7
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な施設たり、様々な道具を備えたりする工夫がされている	51.9	45.2
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある	34.9	39.7
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している	59.4	63.9
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている	85.5	78.1
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている	47.4	45.4
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている	37.0	37.8
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている	52.2	31.7
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる	68.6	75.2
15	学校は、児童と幼児の交流、保護者への理解啓発等、児童教育から小学校教育への円滑な接続を意識した取組を積極的に行っている（小学部）	36.5	40.3
16	子どもは、障害の状態や特性及び心身の発達の段階に応じた目標設定や手立てにより自立と社会参加の可能性が広がっている（特支学級）	57.7	58.5
17	子どもは、通級指導教室・特別支援教室で学ぶことによって、学校生活全般への参加がしやすくなっている（特支教室、通級）	92.9	71.7
18	学校は、特別支援教育の現状や上級学校の生活など、障害者に関する様々な情報、保護者会や個人面談、連絡会などの機会をこれまで提供している（特支学級・特支教室・通級）	42.5	43.2
19	【質問⑯以降は学園独自項目】学園は、様々な専門性をもつ人材が協力し、組織的に子どもたちの成長を支えてくれていると感じている。	48.4	
20	特色ある教育活動【キャリア教育（例：弟子入り体験・商品開発・職場体験等）、外国語、ICT等】は、子どもたちの成長によい効果をもたらしている。	69.1	
21	義務教育9年間を通じた一貫性のある教育（小中一貫教育）は、子どもたちの成長や発達によい効果をもたらしている。	35.5	
22	いじめや不登校などに対して、未然防止、早期発見、解決に向けて、教員が協力して取り組んでいる。	35.2	
23	学園での生活を通して、子どもに、地震や火災など、様々な危険を予測し、回避する力が育まれていると感じている。	62.0	
24	自分から先に挨拶のできる子どもに育っていると感じる。 Communicate—豊かにかかわる—	45.1	
25	小学部と中学部、特別支援学級と通常学級との交流を精力的に進めている。 Communicate—豊かにかかわる—	43.2	
26	学園での学習や行事を通して、子どもは自分の目標に粘り強く取り組む力が高まると感じる。 Challenge—ひたむきに挑戦する—	52.5	
27	学園での学習や行事を通して、思考力・表現力・判断力が高まると感じている。 Create—新たに創造する—	57.9	
28	学園は、Diversity（多様性）を尊重する学習や行事を考え実施している。 Diversityを認め合う学園の実現	48.1	

今年度は、質問内容が大きく変わりました。学園では、内容改訂の根拠ともなりました「杉並区教育ビジョン 2022」について再確認し、教育調査の結果を踏まえて次年度の教育活動の計画をしてまいります。

項目の中で、70%近い評価をいただいたのが「2 協働を促す教育による資質・能力の向上」「20 特色ある教育活動」でした。学園の最重点経営目標である「『3つのC』を体現する児童・生徒の実現」に向けて、来年度も引き続き学園の教育活動の特色である「キャリア教育」や「異文化・異言語・異世代の交流活動」等を地域人材や地域の事業所・商店等と連携して進めてまいります。

一方、「8 いじめを絶対許さない雰囲気」「22 いじめや不登校への取組」については40%を下回る評価となり、教員調査の結果と大きな乖離がありました。「いじめは（傍観者も含め）許されない」という指導は全学年で様々な機会で行っており、「多様性（Diversity）を認めあう」ことも学園重点経営方針に据えて指導を行っています。低い評価は皆様からの更高的な取組への期待の表れと捉え、「安心できる」と思っていただけるよう努めてまいります。

今回の教育調査による数値だけでなく、日頃、直接または学校行事アンケート等を通していただくご要望、学校運営協議会やPTA運営委員会、各種地域懇談会等を通じていただいているご意見、そして何より杉並和泉学園に通う児童・生徒の皆さんのお声を教職員一同共有しながら、今後さらに満足していただけるよう努力してまいります。

令和6年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

小学部

生活目標
1年間を振り返ってみよう
安全目標
3.11から学ぼう

中学部

生活目標
一年間を振り返ろう
安全目標
3.11から学ぼう

小中共通

保健目標
1年間を振り返ろう
給食目標
1年間の給食を振り返ろう

3月
March

行事予定

少しずつ暖かくなっていくよ。桜が見られるのもあと少し…！



しーばくん

		予定				予定	
日	曜	小学部	中学部	日	曜	小学部	中学部
1 金		安全指導 6年生を送る会	お別れ会(A) 保護者会	17 日			
2 土		土曜授業(公開あり・地域連携の日) 短縮時程 感謝の会(6年)	普通救命講習(9年・9A)	18 月		学年朝会 放課後パワーアップ教室(終)	
3 日				19 火			
4 月		学年朝会 6年生を送る会 第2部 委員会⑪計画委員会(3学期最終)	中学朝会 卒業式練習(9年) 専門委員会	20 水		春分の日	
5 火		4時間授業(3・4年) 保護者会(3・4年)	性犯罪被害防止教室(9年) 中央委員会	21 木		給食終 大掃除 5時間授業	
6 水		4時間授業	午前授業	22 金		修了式 お別れの会	
7 木		4時間授業(1・2年) 保護者会(1・2年) 社会科見学(5年)	卒業式全校練習	23 土		卒業式(小)	春季休業日始
8 金		社会科見学(4年)	理科出前授業(7年)	24 日			
9 土			都立一般学力検査分割後期・二次	25 月		春季休業日始	
10 日				26 火			
11 月		避難訓練 小学朝会 クラブ⑫(3学期最終)	生徒朝会	27 水			
12 火				28 木			
13 水		4時間授業 茶道体験(6年)	卒業式予行	29 金			
14 木				30 土			
15 金		茶道体験(5年) 中学部9年生送り出し		31 日			
16 土			卒業式	4/8(月) 着任式・始業式 4/9(火) 入学式(中学部:9:30 小学部:13時30分から)			

※避難訓練は予告なしで行います。

3年生郷土博物館見学

社会科の学習で杉並区の昔の暮らしを学び、2月8日に杉並区立郷土博物館へ見学に行きました。学芸員の方のお話を聞きながら、常設展でクイズに取り組み、杉並区の地域の歴史を学びました。また、外の古民家では、囲炉裏を囲み、昔の生活や民具についてを学びました。石臼を回す体験もを行い、「昔の人は力仕事が多く、毎日大変そうだった」と感想を伝えている子もいました。

学校支援本部コーナー

「茶道体験」(5・6年生) 支援本部長 吉橋 正美

3月13日(水)6年生、3月15日(金)5年生の「茶道体験」が行われます。準備は前日の授業が終わった夕方に武道場全体に畳を敷き詰めて頂くことから始まります。畳が敷かれるとあっと言う間に和室の雰囲気が出てきます。次に3畳のゴザを敷いて風炉(ふろ)を置き、床の間の雰囲気を出すため柱の場所に掛け物(かけもの)(掛け軸)を掛け、季節の茶(ちゃ)花(ばな)を花入れに入れると杉並和泉学園の茶室が出来上がり5年生・6年生の可愛いお客様をお迎えする準備が整います。このように茶道では、茶室の風情にふさわしい「設え(しつらえ)」をすることやお茶を点てる(たてる)お相手に最善を尽くすことはとても大切なことです。1クラス1時間の体験ですが、茶室の風情を楽しんで頂き、コロナ禍では出来なかった亭主と客人を2名1組で代わる代わる行って頂きたいと思っております。お茶碗に入れたお抹茶にお湯を注ぎ、茶筅をシャカシャカと前後に動かして泡を点てる皆さん姿を今から想像しています。知らないより知ること、一度の経験が将来役立つこともありますので楽しんで学んで欲しいと思います。当日は朝早くから保護者の方々にお手伝いを頂けるとお聞きしました、大変感謝申し上げます。次年度も学校支援本部の活動にご理解・ご協力をお願い致します。

スキー教室(8年生)

昨年末から準備を進めてきた菅平スキー移動教室が1月28日～30日に無事行われました。実行委員の生徒を中心に、「集団で協力していき 楽しもう スキーが好きで 仲間スキ」をスローガンとして掲げ、持ち物や宿舎内での決まり事の話し合いから丁寧に行い、修学旅行に繋がる宿泊行事に、主体的に望むことができました。

学校運営協議会コーナー

革新と継続

CS会長 坂野 慎二

杉並和泉学園は2015年に発足して9年目、CSは初年度の10月にスタートしました。今年度の杉並和泉学園CSを振り返ると、9月には8年間(2年任期×4回)を終了して卒業された方が3名、そして10月に4名の新たな委員をお迎えしました。当初からCS委員を務めているのは、3名になりました。

学校は毎年人が少しずつ替わっていきます。児童生徒は6年あるいは9年で卒業していきます。先生方も3-6年程度で他校へと異動していきます。管理職の先生方はもう少し短い年数で異動になることが普通です。PTAの役員の方は1年で替わる場合もあるでしょう。

これまでの良さ、文化や伝統を引き継いでいくことは大切です。と同時に、人が替わるときは、新たなチャレンジを始める良い機会です。何か新しいことを始めることは、学校の活気につながっています。CSもこれまでの活動を見直し、来年度に向けて新たなチャレンジを計画しています。

<https://shinsen-izumi.sakura.ne.jp/>

お問い合わせinfo@shinsen-izumi.sakura.ne.jp



学校運営協議会についての詳細は、こちらのQRコード(学園HP内)からご確認できます。

